



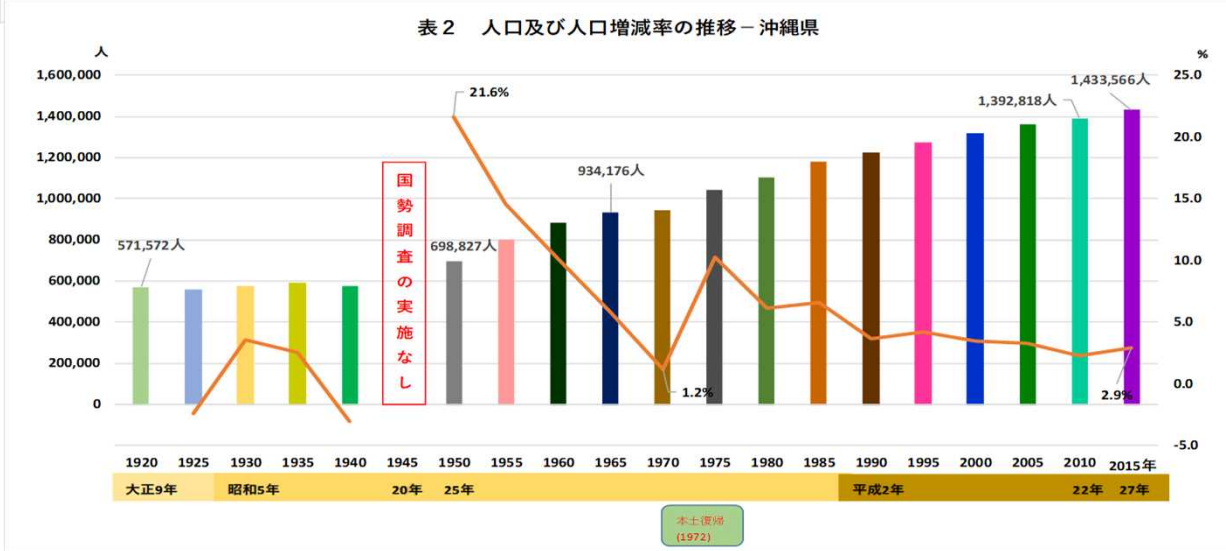
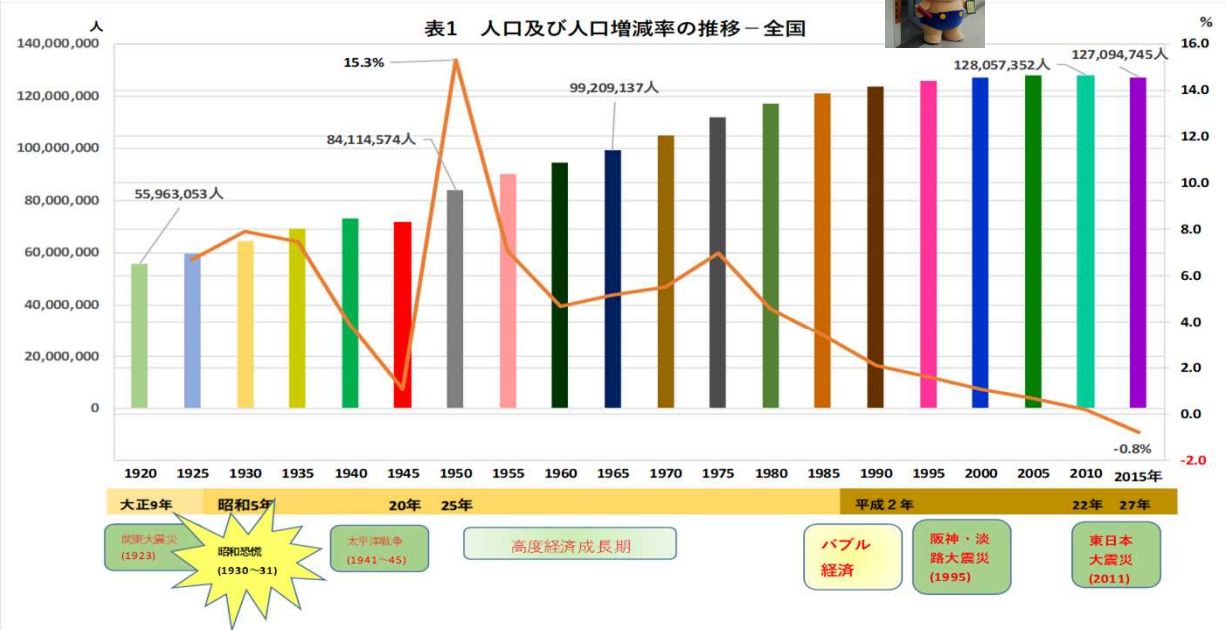
開始100年の国勢調査が始まります

4月になり、春の心地のよい時季となりました。

沖縄県企画部統計課では、令和2年国勢調査を正確かつ円滑に実施するため、令和2年4月2日に「令和2年国勢調査沖縄県実施本部」を設置し、県庁統計課前において看板掲揚式を行いました。(右写真)

国勢調査は、大正9年(1920年)の第1回調査以来、国の最も基本的で重要な統計調査として実施しており、令和2年(2020年)に100年の節目を迎えることとなります。この間、国勢調査は、国民の皆さまのご理解とご支援のもと、日本の国と地域の人口とその構造、世帯の実態を明らかにし、様々な統計データを社会に提供してきました。時代も大正から昭和、平成、そして令和へと変わってきましたが、国勢調査の重要性に変わりはありません。今を知り、よりよい未来をつくっていくために国民の皆さまの理解を得て、日本国内に住むすべての人と世帯をもち、正確に把握することが必要な統計調査です。

今回は、全国と沖縄県の人口と人口増減の推移を調べてみました。(表1、表2)



資料：表1 総務省統計局「平成27年国勢調査 人口等基本集計結果 結果の概要」、表2 沖縄県企画部統計課「平成27年国勢調査 人口等基本集計結果の概要」

平成27年国勢調査による全国の人口は、1億2,709万4,745人となり、前回調査の平成22年に比べると、人口は96万2,607人減少しています。5年ごとの人口増減率の推移をみると、昭和20年～25年はいわゆる第1次ベビーブーム等により15.3%と最も高い増加率となったが、平成22年～27年は△0.8%と大正9年の調査開始以来、初めての人口減少となっています。(表1)

次に、沖縄県の状況(表2)を見ると、全国の人口が平成27年の調査で増加から減少に転じたのに対し、沖縄県では引き続き増加している点が特徴的です。また、人口増減率について、増加率の値は1975年以降減少傾向にあるものの、前回、前々回の調査では増加率2%台を維持しています。

国勢調査の結果は、国や地方公共団体の行政施策のほか、民間企業等でも様々な場面で利用されています。日本の未来をつくるために必要な大切な調査となっていますので、みなさんの調査へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「国勢調査」の詳しい内容について、総務省統計局ホームページからご覧ください⇒<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020campaign/>